

地方通信

は然りであります。

北海道では九月二十三日を道路愛護デーとし全道に亘り各道路沿ひの部落民、青年團員總出で道路の修繕、清掃、草刈等を行ふて好成績を挙げたが其計畫の施行に臨み中村土木部長は次の如き談話を試みられた

現在北海道には国道一五一里三四町、地方費道八七六里二七町、準地方費道八二六里三四町、市道二三〇里三一町、拓殖費支辨町道八四三里一六町、町村費支辨町村道七、八四九里一七町を有し其の合計は實に一〇、七七九里十八町の數字を示して居ります其の外地方團體私人の開墾に依るも又は踏分道農耕道等は此の計數に入りません、續つて本道交通の状態を觀ますれば各地の開拓と生産業の發達に伴つて物資の集散旅客及移民の來往等が逐年頻繁を加へゝあるにも拘らず此の道路の延長は都部其の文化生産及經濟活動の推進力であります之に依つて地方は開發振興を見るものであります況んや北海道拓殖地の現狀に於て

知るに足ります。
依て一昨年の本道拓殖計畫改訂案には今後更に五千萬圓を投じて二十ヶ年間に三、三〇〇里を増加延長して一方里當二里三十町に擴充したいと思ふのであります之と共に道路は其の延長を擴充して交通運輸の機能を發揮するのみならず其の改良修理に努めねばなりません且つ最近數年來自動車其他高速度運輸機關が道内各地に極めて多く利用せらるゝ今日の状態に於ては私共道路の改良整備に非常に努力致さねばならぬと思ひます、例へば道内重要幹線は本道文化産業發展の一大疏通路であります拘らず函館札幌線札幌根室線、札幌稚内線等其の他の如きも何れも不整備たるを免れません即ち此等基本線を縦横に整備し各市町村分も之に應じ其の基本線を完成するの必要を認めます。

特に非常時局に對處する國民として生產力擴充と軍事防護關係とを考へ及ぶとき一層其の感を深くします、彼の「ローマに遠する道路は一日に成らず」と申します道路網の整備は本道の重要な使命でありますかの六分の一にも達しません其の不利不便を

以て費用を支出すると共に地方住民の御協力に依る其の愛護を最も緊要と致します地方人士は開道七十年に及ぶ樂土北海道建設の爲其の最寄の道路橋梁を愛護され熱心に其の保護維持に當つて戴きたいものであります。

北海道夕張道路愛護デ

九月二十三日夕張町では沿道各部落民が出勤し道路の小改修、其の他の愛護事業を行ひ小學校では児童に對し作文や講話にて愛護思想の普及に努むる所があつた。

東北地方

秋田縣道路愛護旬間經過

七月初旬に於て八月廿一日より同廿日迄を道路愛護旬間と定めて以來、經濟部長より縣下各市町村長に所轄土木事務所長と打合の上道路の修理保全のため奉仕作業を行はれん事を依頼し、之が宣傳ポスター壹千枚を配付掲示した。

本縣道路は近年鋭意努力の結果最近頃に

改善するに至り且つ昭和三年道路愛護獎勵規程制定以來道路愛護會數百七十餘に上方人士は開道七十年に及ぶ樂土北海道建設の爲其の最寄の道路橋梁を愛護され熱心に其の保護維持に當つて戴きたいものであります。改善の一端に資せん事を期し今回の催を計畫したのである。

斯る催は本縣最初の事とて其の成績に付ては相當危懼してゐた。然るに此計畫發表せらるゝや作業方法に就き土木事務所長と打合を遂ぐるもの續出し茲に全縣一致の大運動となつたのである。各市町村長は管内道路愛護會は勿論各種團體と協力し、此の期間前道路愛護思想普及のビラを戸毎に配布し、各部落、又は團體の代表者を集めて作業方法を教授し、標柱を立て各自の分擔を定め、所々除草の模範を示し置く等準備を進め、旬間作業に遺漏無きを期した。

七月初旬に於て八月廿一日より同廿日迄を道路愛護旬間と定めて以來、經濟部長より縣下各市町村長に所轄土木事務所長と打合の上道路の修理保全のため奉仕作業を行はれん事を依頼し、之が宣傳ポスター壹千枚を配付掲示した。

本縣道路は近年鋭意努力の結果最近頃に續審査の爲知事經濟部長土木課長其の他土木課員を派し観察せしめたのであるが、二十五日以後充員召集令下りたるに不拘此の精神並に道路愛護思想を振興し併せて道路改善の一端に資せん事を期し今回の催を計畫したのである。

其の詳細は別紙統計の如くであるが作業總延員は約一一〇、〇〇〇人にして本縣人口の壹割を超えて、殊に小學校児童の作業延員は小學校児童總數の壹割八分に上つてゐる。作業道路總延長は一、三六二糠餘にして其の中國道路は二一九糠餘（國道總延長三四一糠餘に對し六割四分強）府縣道は約九〇四糠（府縣道總延長二、〇七六糠餘に對し四割參分強）に達する。之が實績を金額に見積れば參萬五千七百九拾壹圓四拾貳錢となる。此等の作業は側溝浚渫、路肩整理、除草、草刈、路面不陸直等を主とし、市町村役場當局、道路愛護會長並に土木事務所吏員の指導下に行はれたのである。

以上の如き成果を收め得た道路愛護運動は全く舉縣的のものであつた。尤も縣下貳百參拾六市町村中奉仕作業を行はりしもの拾八を數ぶるもの等は夫々不得已事由に因るものである。縣當局は此の熱心なる労奉仕作業に深く感激し、作業團體全部に

道路愛護旬間作業郡市別統計

	作業延人員	作業延時間	見積單價	一時間當			作業道路延長	摘要		
				男	女	小學兒童				
秋田市	一、九六八人	二、六六四小時	一、六〇〇円	男	女	小學兒童	一、一〇九・六〇米	一、一〇九・六〇米		
鹿角郡	一、九三一	二、五三三小時	一、九六〇円	一、九三一	一、零三	十八人	一、九三一	一、九三一		
北秋田郡	一、七九三	二、三三〇小時	一、九〇〇円	一、七九三	一、零三	十八人	一、七九三	一、七九三		
山本郡	一、七九三	二、三三〇小時	一、九〇〇円	一、七九三	一、零三	十八人	一、七九三	一、七九三		
南秋田郡	一、七九三	二、三三〇小時	一、九〇〇円	一、七九三	一、零三	十八人	一、七九三	一、七九三		
河邊郡	一、七九三	二、三三〇小時	一、九〇〇円	一、七九三	一、零三	十八人	一、七九三	一、七九三		
由利郡	一、七九三	二、三三〇小時	一、九〇〇円	一、七九三	一、零三	十八人	一、七九三	一、七九三		
仙北郡	一、七九三	二、三三〇小時	一、九〇〇円	一、七九三	一、零三	十八人	一、七九三	一、七九三		
平鹿郡	一、七九三	二、三三〇小時	一、九〇〇円	一、七九三	一、零三	十八人	一、七九三	一、七九三		
雄勝郡	一、七九三	二、三三〇小時	一、九〇〇円	一、七九三	一、零三	十八人	一、七九三	一、七九三		
計	五、九八四	一、四八四小時	一、九〇〇円	五、九八四	一、四八四	一百八十八人	一、四八四	一、四八四		

備考(1) 小學兒童の労力トラック馬車の使用對價及土砂利等の材料費は之を見積金額中に含ます。

(2) 作業道路延長中町村道に就ては他に詳細不明のもの相當に存するも本表には明確なるのみを掲ぐ。

トラック二臺(馬車十四臺) 使用
馬車五十一臺(馬車四十三臺) 使用
馬村發五十二臺(馬車二十九臺) 使用
馬村作業をなさざる町
馬車五十一臺(馬車四十三臺) 使用
トラック二臺(馬車五十七臺) 使用
馬車五十一臺(馬車四十三臺) 使用
馬車五十一臺(馬車四十三臺) 使用

感謝狀を贈り成績特に優秀なるものには金一封を添へ鄭重に感謝の意を表した。

今向の道路愛護運動は前述の如く單に道路修理保全の實績のみならず、寧ろ勤勞奉仕精神並に道路愛護思想の振興てふ一の精神運動としての使命を擔つてゐた。果して此の使命遂行に幾何の貢献を爲し得たかは茲に斷言の限りでないが此の句間終了直後の現在、道路愛護會設立届出數の増大しつゝあるを喜び、今後年々此の運動を繼續擴大し如上の使命達成に努むる意向を固めたのである。(昭和一二、九、二八)

山形縣關山トンネル竣工 祝賀式舉行

山形縣と宮城縣との關山トンネルは昨一年八月一日着工以來滿一ヶ年、工費三十萬圓を投じ施行中であつたが此程竣工したので兩縣共同主催の下に九月十七日盛大な竣工祝賀式が舉行された前記の如くに此關山街道は總工費三三四、五六六圓總延長九九六三メートル八〇幅員六メートル五〇に及びこの内隧道は延長二九七メートル五〇、幅員六米、高さ五米で、隧道のみの工

費は七六、五五九圓東北振興、關山街道改築工事として昨年八月一日事業着手本年七月三十日を以て竣工した、今回の事業は

主として山間部街道の改修だつたので事業遂行上苦心も高く評價さるべきものだが從

來道路不備のため交通は危險で、隧道が狭かつたため通過荷物積載が極めて制限されてゐたのが今回的事業完成によつて兩縣聯絡が圓滑化され、仙臺、山形兩市の交通史に一時代を劃した。

仙臺地方から山形に移入された魚類二十五萬貫の運賃一萬二千圓は六千圓に、山形地方から仙臺地方に移出される木材、薪炭、野菜、米、櫻桃、酒、鯉、牛、煙草、俵、繩、筵、味噌等の運賃一萬五千圓は約七千圓

にそれゝ、この街道竣工によつて負擔半減の恩恵に浴する事となつた、勿論この外交通上の安全保障、時間短縮、輸送力の増加等恩恵は枚舉に暇ないが、この街道こそ

太平洋と日本海を結び鹽釜港と酒田港を連ねる軍事上の重要な道路であるといふ事は非常時の際、兩縣民の忘るべからざる所である。

茨城縣府縣道改良の施工 關東地方 振當

茨城縣ではかねての道路改良計畫に基き此際六萬三千六百圓を以て實施することとなつたが其の工事箇所は二十八ヶ所で延長七千五百米に達す、其の箇所は次の如し。

◇東茨城郡 岩間湊線(堅倉)四〇〇米▽東那珂益子線(大場)三〇〇米

◇西茨城郡 飯岡土浦線(北那珂)三〇〇米

◇那珂郡 湧鉢田線(湧)一二〇米▽長倉烏山線(八里)三二〇米▽水戸大宮線(瓜連)

一五〇米▽三美水戸線(戸多)四〇〇米

◇久慈郡 里野宮久慈線(坂本世矢)三五〇米▽東河内日立線(中里)四〇〇米▽天下野水戸線(諸富野)三〇〇米▽松原大字線(高倉)二〇〇米

◇多賀郡 日立勿來線(南中郷)二五〇米▽六號國道(關南)二二〇米▽高萩停車場線(松原)四〇米

◇行方郡 麻生鉢田線(津澄)三五〇米

- △稻敷郡 浮島江戸崎線（古渡）二五〇米
- ▽土浦龍ヶ崎線（馴柴）二五〇米
- ◇新治郡 大曾羽鳥停車場線（園部瓦會）五〇〇米
- ▽阿見中家線（土浦）三〇〇米
- ◇真壁郡 岩瀬久下田線（河間）三五〇米
- ▽大寶停車場線（大寶）一五〇米
- ◇結城郡 結城上三川線（結城）三五〇米
- ▽結城岩井線（結城）八〇米 ▽關本古河線（江川）二〇〇米 ▽鴻ノ山水海道線（菅原）三五〇米
- ◇猿島郡 境幸手線（五霞）二〇〇米
- ◇北相馬郡 稲戸井相馬線（山王）二五〇米

茨城縣下小貝川に架橋成る

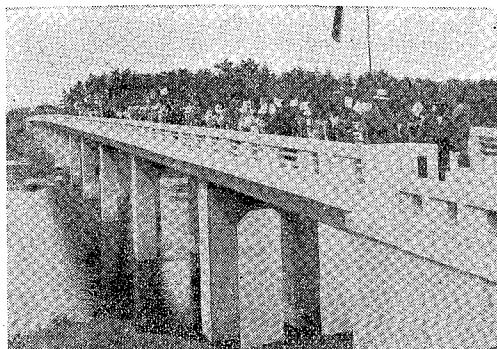
縣南の北相馬郡山王村と筑波郡谷井田村との間を流るゝ小貝川に二三成橋と云ふややこしい橋名の附いた橋があるその橋名の因て来る所を尋ねると禿頭村長は感慨深げにその光輝ある頭を撫でて語る。元來本箇所は谷原三萬石の物資を江戸に送る門戸にして往時より相當の交通量を有し車馬の來往極めて頻繁であつたが小貝川に橋梁がなく賃取渡船で全く不便であつた。ために明治二十三年何處からともなく架橋の議が起

三、一五メートルの木造桁橋であつた更に時代は過ぎて交通機関も一新し重荷重の交通は日を追ふて頻繁となるに及び現橋は腐朽破損甚しく交通全く危険の状態となつた時恰も内務省に於て施行せる小貝川の河川改修工事も本架橋地點まで進みたることを以て縣は内務省と相計り工費六萬九千圓を以て新橋の計畫をなし國庫の負擔金四萬四千圓を得て昭和十一年六月着工本年九月新しい二三成橋を作つた新橋は長一八〇・〇米有效

新し附近を明朗化した。（池内技術）

石川縣下金澤、湯涌温泉間縣道は一部決済改修工事のため長らく不通だつたが一日より全通した。

北陸地方



二三成橋

つたが昔より下總國と常陸國の國境ではあるし其他利害關係更に感情關係等も相錯雜して容易に相談がまとまらずその間意外なる事件も突發して相反自すること實に二十幾年漸くにして現橋の出来たのは明治四十五年一月で架橋の相談よりその竣成までに丁度二十三年を要したるを以て兩村にて之を紀念するためニ三成橋と命名し以後兩村相争ふことがなくなつたと云ふ當時の工費は五千圓でその後大正十二年縣に於て工費六千圓を投じ大修理をなし今日に至つたものである。現橋は長七六、四米有效幅員

五年一月で架橋の相談よりその竣成までに丁度二十三年を要したるを以て兩村にて之を紀念するためニ三成橋と命名し以後兩村相争ふことがなくなつたと云ふ當時の工費は五千圓でその後大正十二年縣に於て工費六千圓を投じ大修理をなし今日に至つたものである。現橋は長七六、四米有效幅員

なほ同溫泉行バスは從來大學前を起點としてゐたのを同日から金澤驛前に變更全線を運轉する。

東海地方

三重縣四日市市道の明粧

躍進四日市にとつて都市計畫事業化の一歩である金場、赤堀線中の市役所前路線工事はやくも工程の半分を終へた、延長こそ僅々百五十九メートルに過ぎないが幅員十一メートル、このうち兩側の各二メートルは人道他は車道といふ四日市にははじめての明粧大道路も來月中には堂々と其姿を現はすのである。

三重縣下九鬼の林道竣工 近づく

三重縣の南端九鬼村と尾鷲町とを結ぶ九鬼林道は其の延長一七キロ幅員三メートル總工費十六萬圓で着工したもの、現在は尾鷲町大字行野浦地内から同町大曾根浦に至る延長凡そ三キロが未完成區間でこの間に

五十名の人夫が就労着々工を急いでゐる、

々協議を遂げた。

十一月末までには見事に完成を見ることになつてゐる。

竣工の曉は同地方の水產と林産界に一大福音を齎し或ひは素晴らしいドライブエ

イ、絶好のハイキングコースとして都人士の往來も頻繁となるであらう。

近畿地方

和歌山縣交通協會發會式

和歌山縣交通協會は自動車營業者を中心にして交通關係者一千名を糾合し十月八日市公會堂で愈々發會式を擧ぐるに至つた。會長中村警察部長をはじめ警察部各課長、各署長および會員約三百名出席、中村會長の挨拶について在支陸海軍への感謝電報を可決直ちに各司令官宛打電しついで「時局に鑑み統後の後援と交通報國の實をあげんことを誓ふ」といふ意味の力強い決議のうち國民精神總動員應召自動車關係業者および選轉手の取扱ひ、交通事故防止などにつき種

和歌山縣下三大幹線の交通量調査

和歌山縣では九月十六日から十八日まで

三日間に涉り國道十五、十六兩路線及和歌山市に至る縣道につき步行者、自動車、牛馬車その他一切の交通量を調査した。國道十五號線は和歌山市から橋本町までに七ヶ所、同十六號線は北島橋から紀泉國境の貴志崎まで三ヶ所和歌山、新宮兩市間の四縣道は十五ヶ所の調査箇所を設け一人、一臺

も見逃さず調査、兩國道はともに大阪、奈良へ通ずる關門であり四縣道はいはゆる躍進紀州の南北をつなぐ大動脈線であるだけに四年ぶりの調査と相まつて產業和歌山の飛躍をまさ／＼と語る數字を表はすものとして頗る期待されてゐる、なほ阪和交通路の要關、北島橋西詰の調査所は終夜行ふた

が二日間が雨であつたため交通量が平常に比して少なかつた憾みがあり縣土木課では殘念がつてゐるが同課でとりまとめた三日間の平均によると歩行者の最も多いのは海南市黒江中瀬の五、四〇一名最も少いのは

崎の二六名、自転車は北島北詰の五、九七七臺がトップ、トラックも一六三臺が同所がトップでさすがに阪和聯絡の産業道路であることを示してゐる。

中國地方

山口縣の四橋架橋工事

山口縣では十二年度豫算に二十五萬圓を計上、十九の橋梁架替を行ふことになつてゐたが、時局の影響によつて十五橋を斷念し、残る四橋を架換ゆることを決したので、よく近く着工、本年度内に竣工の豫定である、その四橋は左の通り。美郷郡共和村平野橋▲佐波郡柏原村出合橋▲厚狭郡一俣瀬村木澤橋▲豊浦郡黒井村社屋橋

朝鮮地方

釜山府の跨線橋施工

釜山府では工業地帶として發展の新府域の西面にも都市計畫による幹線道路の完成成

地方通信

を期することとなり京釜線の複雑化に對応して京釜線と交叉する東萊街道（國道）海雲臺街道（國道）の兩踏切に最新式の跨線橋を架設することとなつた、架設工費は十萬圓で延長四十メートル幅員二十五メートル、跨線橋は二ヶ所に作り明十三年度から着工する豫定である。實現の上は從來頻發した兩踏切における交通事故も防止出来るし、時局柄產業上にも甚大な利益をもたらすものとして期待されてゐる。

滿洲地方

技術員の遭難

（省略）滿洲國に職を奉じて居る數十名の吾々技術員は今回の日支事變に際し道路修理班として軍に配屬され主として北支方面に於ける後方連絡道路の築造に從事して居りました。今回私は之等路線を視察するために熱河省土木科長山岸貞一氏と共に現地に赴いて此の災難に會つたわけであります。

九月七日午前七時一同自動車に搭乗して承德を出發し南方に向ひ午後三時頃密雲に到着しましたが同地の情報によると高麗營方面の匪情悪く滿軍十名を護衛として連れ行くことにしました。その晩は懷柔に一夜泊しましたが夜中遠方に銃聲を聞き不氣味な夜を明したのであります。

八日は懷柔を八時半に出發し高麗營から西方に折れ十一時頃小湯山に到着しまし

の開北崎、上ノ平、下ノ平等眺望の美はしない所が多く又大森林地帯があり頗る佳景に富んで居る。

か。同地は以前から北平郊外の温泉として都人士の遊覽地であつたのですが先月の戰

闘に於て日支交戰の巷と化したため現在は全く廢址の如くで住む人もなく僅かに一、二名の番人が建物を保管してゐるに過ぎません。

少し時間は早かつたのですが同地で携行の辨當を喫し午後一時頃迄ゆつくりと休憩しそれより沙河鎮を經由し南口鎮にそのは日は一泊しました。始めの豫定ではそれから更に張家口へ出る筈でしたが途中の道路狀況惡しとの情報に餘儀なく元と來た道を引返し承德へ歸ることにしました。

愈々遭難の十日であります。今度は小湯山で中食を攝り高麗營迄一氣に走らせる豫定にしその準備を進めてゐました所出發少し前に軍の某參謀より連絡あり急に私と山岸とは同參謀と共に北平へ行くことになつたのです。そこで佐々木技士、廣井屬官の兩名は豫定通り萬運轉手の車で出發し高麗營で我々を待ち受ける約束をしたのです。之が永久の別れになるとは全く夢の様です。此の一行は途中道路狀況を偵察しつゝ高麗營へ向つたのですが豫定より稍々おくれ小湯山へ着いた時は既に午後四時にな

つてしまつたのです。荷物を取敢えず玄關に卸し手を洗つてから中食をとらうと三名

で洗面所へ向つた所を先頭から外で待伏せしてゐたのか突如支那敗殘兵八十名の襲撃

をしてしまつたのです。一方私達は軍の參謀と列車で北平に向つため災難を免れたのであります。此の報告を受けたのは大分時を経てからであります。早速承德の本部へ打電すると同時に満軍の協力を得て三名の屍體を高麗營に收容したのは十二日の朝であります。此の時も現場近くには數千名の敗殘兵が蟠居していましたので屍體取戻しに實に並々ならぬ苦心をしたのであります。取り敢えずこゝで火葬に附し遺骨を護つて一同十四日夕刻承德に歸着致しました。斯くの如く自分等が難を免れたのは全く天祐と云ふべきで自分等の生還にひき比べ同僚がこの様な姿で歸つてきたのは實に何とも申譯けない次第で慚愧の至りに堪えません。

今回之の遭難に關し關東軍部隊及び満軍當局の寄せられた御好意は全く御禮の申し様もない次第で殊に戰死を遂げた佐々木、廣井兩君は軍のお骨牌で靖國神社に合祀せらるゝとの趣感激の至りに堪えません。此の上は吾々も忠實にその職に精勤し以て聖恩の萬分の一にも報ひたいと誓ふ次第であります。康德四年九月十六日（江守保平）



昭和八年五月二十日子羅溝に於ける行